

★★★ <第27回知的財産翻訳検定試験【第2回独文和訳】> ★★★  
《ドイツ語》

【問1】

自動車の自律的な走行は、久しく以前より、研究および開発の対象となっている。自律的な走行とは、自動車が、自車の駆動力を用いて実質的にドライバーレスで、かつ外部からの指令なしに、出発地点から目的地へ走行し得ることを意味する。このような自動車は、特にたとえば先行車に対する自動的な車間距離保持や、あるいは自動車を車線に沿って誘導することのできる車線維持支援を可能にする既知のドライバーアシストシステムを進化させたものである。自律的に走行する自動車は、走行中に出現する状況に適切に反応することができる。このためには、特にナビゲーションシステムの使用や、相応する状況を認識できるようにするための多数のセンサの使用が必要となる。

【問2】

図1には、水素を含有する液体化合物から水素を放出させるための反応器が図示されている。この反応器は、反応器容器1を備え、この反応器容器1は、触媒型の反応系として、金属の担体構造を備えた物体（図示しない）を含んでいる。この金属の担体構造には、高多孔質の固形の被覆体が被着されており、この被覆体は、水素を含有する液体化合物から水素を放出させるための、触媒作用を有する物質を含んでいる。反応器容器1は、並列に接続された複数の管2から成る管束6であり、管束6の、2つの取付けプレート3、4によって相互間隔を置いて保持された個々の管2は、金属の担体構造を備えたそれぞれ少なくとも1つの物体を含む。この物体は、流れ方向矢印5によりシンボリックに示したように、各管2内で、水素を含有する液体化合物の流れによって取り囲まれる。この場合、管束6と、管束6の周囲との間での熱交換過程により、水素を含有する液体化合物5と、金属の担体構造を備えた物体とは、管2内で反応温度へもたらされ、この場合、管束6の外側の表面には、加熱媒体用の少なくとも1つの流入開口8と流出開口9と流入捕集室10とを備えた、加熱媒体に対して密なハウジング7内で、加熱媒体が供給される。

【問3】

〔請求項1〕 自動車のバンパーであって、U字形のバンパークロスビーム(2)を備え、該バンパークロスビーム(2)が、ウェブ(3)と、該ウェブ(3)に対して折り曲げられた2つの脚部(4)とを有し、該脚部(4)の間に牽引スリーブ(8, 8a)が配置されており、該牽引スリーブ(8, 8a)が、保

持金属薄板（7）を介して前記バンパークロスビーム（2）と接触しており、前記牽引スリーブ（8，8 a）が、該牽引スリーブ（8，8 a）の長手方向で間隔を置いて配置された2つの取付け部を介して、前記バンパークロスビーム（2）と前記保持金属薄板（7）とに結合されており、前記取付け部のうちの一方の取付け部が、材料接続式に形成されており、他方の取付け部が、摩擦接続式および／または形状接続式に形成されており、前記牽引スリーブ（8，8 a）が、所定の長さ（B）を有し、前記取付け部の間の間隔（A）が、前記長さ（B）の40%ないし90%である、自動車のバンパーにおいて、前記取付け部のうちの一方の取付け部が、材料接続式に形成されており、他方の取付け部が、摩擦接続式および／または形状接続式に圧入により形成されていることを特徴とする、自動車のバンパー。

〔請求項2〕 バンパークロスビーム側の取付け部が、摩擦接続式に形成されていることを特徴とする、請求項1記載のバンパー。

〔請求項3〕 前記保持金属薄板（7）が、前記ウェブ（3）の、前記脚部（4）とは反対の側に配置されており、前記牽引スリーブ（8，8 a）が、前記ウェブ（3）に設けられた、前記保持金属薄板（7）から離れる方向に向けられた突出部（6）に支持されていることを特徴とする、請求項1または2記載のバンパー。